

V 残された問題点

1. マダイ親魚について 餌料の質、収容密度、飼育管理を改善し、早期採卵の実現を図る。
2. マダラハタについて カキ受精卵の入手可能な6月頃までに採卵が可能となるよう人工的に産卵促進させ、初期飼育における初期餌料の解決を図り、歩留り向上について検討する。
3. マダイ及びマダラハタの本土における成長と経済性の検討。
4. コガネシマアジについて 自然産卵が可能かどうか、成熟及び産卵促進用ホルモン剤使用による人工的な採卵方法の検討。
5. 初期（沖出し直後）減耗の原因究明と対策。
6. マダイ養成2年目の高水温期の飼育。

VI 文 献

1. 沖縄県水産試験場1981:「昭和55年度、研究開発促進事業 南方海域諸島種苗生産基地化基礎技術開発研究」
2. 沖縄県水産試験場1982:「昭和56年度、研究開発促進事業 南方海域諸島種苗生産基地化基礎技術開発研究」
3. 九州、山口ブロック水産試験場マダイ種苗生産研究会1979:「マダイ種苗生産技術の現状と問題点、日本水産資源保護協会PP1,79」